

株式会社SBI証券

決算説明資料

～ 2021年3月期 第3四半期 ～

2021年1月29日

本資料に掲載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。なお、当社は本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なく変更または廃止される場合がありますので、予めご承知おきください。

<決算概況>

2021年3月期 第3四半期累計業績

2021年3月期 第3四半期累計連結業績は、内外の株式市況が引き続き活況で国内株式・外国株式ともに売買増に伴う委託手数料の増加、並びに外債販売に係るトレーディング損益の増加により、前年同期比で増収増益を達成。「営業収益」、「純営業収益」、「営業利益」、「経常利益」、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の全てにおいて過去最高を記録。

(単位:百万円、%)

	2020年3月期 第3四半期累計 連結 (2019年4月～12月)	2021年3月期 第3四半期累計 連結 (2020年4月～12月)	前年同期比 増減率
営業収益	87,759	116,273	+32.5
純営業収益	79,032	108,251	+37.0
営業利益	27,515	44,784	+62.8
経常利益	27,837	44,795	+60.9
親会社株主に帰属 する四半期純利益	17,910	37,099	+107.1

＜決算概況＞

主要インターネット証券の2021年3月期 第3四半期業績比較

(単位:百万円、%)

会社	SBI (連結)		楽天(※1) (連結)		マネックスG(※2) (IFRS)		松井 (非連結)		auカブコム (非連結)	
	項目	前年同期比 増減率	前年同期比 増減率	前年同期比 増減率	前年同期比 増減率	前年同期比 増減率	前年同期比 増減率	前年同期比 増減率	前年同期比 増減率	
営業収益	116,273	+32.5	55,044	+32.1	47,265	+22.5	21,570	+24.2	14,462	▲0.4
営業利益	44,784	+62.8	11,202	+40.7	9,257	+203.4	9,101	+45.6	1,700	▲1.2
経常利益	44,795	+60.9	11,330	+57.7	8,944	+191.9	9,172	+44.0	1,728	▲4.6
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	37,099	+107.1	5,988	+36.4	6,548	+190.7	7,747	+76.1	836	▲38.4

出所:各社WEBサイトの公表資料より当社にて集計

※1 2018年度より12月決算に変更しており、上記は同社公表の2020年4月～2020年12月の連結業績の数値を記載

※2 営業利益は「営業利益相当額」、経常利益については「税引前四半期利益」を記載

主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

<決算概況>

四半期毎の業績推移

(単位:百万円、%)

項目	2020年3月期				2021年3月期			前四半期比 増減率
	第1四半期 (19年4~6月)	第2四半期 (19年7~9月)	第3四半期 (19年10~12月)	第4四半期 (20年1~3月)	第1四半期 (20年4~6月)	第2四半期 (20年7~9月)	第3四半期 (20年10~12月)	
営業収益	27,464	30,400	29,894	36,707	35,375	38,654	42,243	+9.3%
純営業収益	25,032	26,939	27,060	34,385	32,966	35,892	39,392	+9.8%
営業利益	9,266	8,803	9,445	14,610	12,678	14,558	17,547	+20.5%
経常利益	9,351	8,939	9,546	14,784	12,746	14,570	17,478	+20.0%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	6,175	5,559	6,175	10,066	9,106	9,882	18,111	+83.3%

<決算概況>

2021年3月期 第3四半期決算のポイント

1. 委託手数料収入・・・前年同期比55.4%増の32,576百万円

- ▶委託売買代金は前年同期比.69.6%増の104兆6,842億円(うち、信用取引は71兆9,321億円)。手数料率は前年同期比0.24ポイント減の2.93ベース。
- ▶個人委託売買代金における当期の当社シェアは40.1%。

2. 金融収益・・・前年同期比4.3%増の28,470百万円

- ▶金融収支は前年同期比5.2%増の22,736百万円。

3. 引受・募集・売出手数料・・・前年同期比28.3%増の4,437百万円

- ▶投資信託残高は四半期末で3兆1,285億円。
- ▶2020年4月から12月までの新規上場社数66社のうち当社引受社数は61社。(引受関与率92.4%)

4. トレーディング損益・その他収入・・・前年同期比41.0%増の50,789百万円

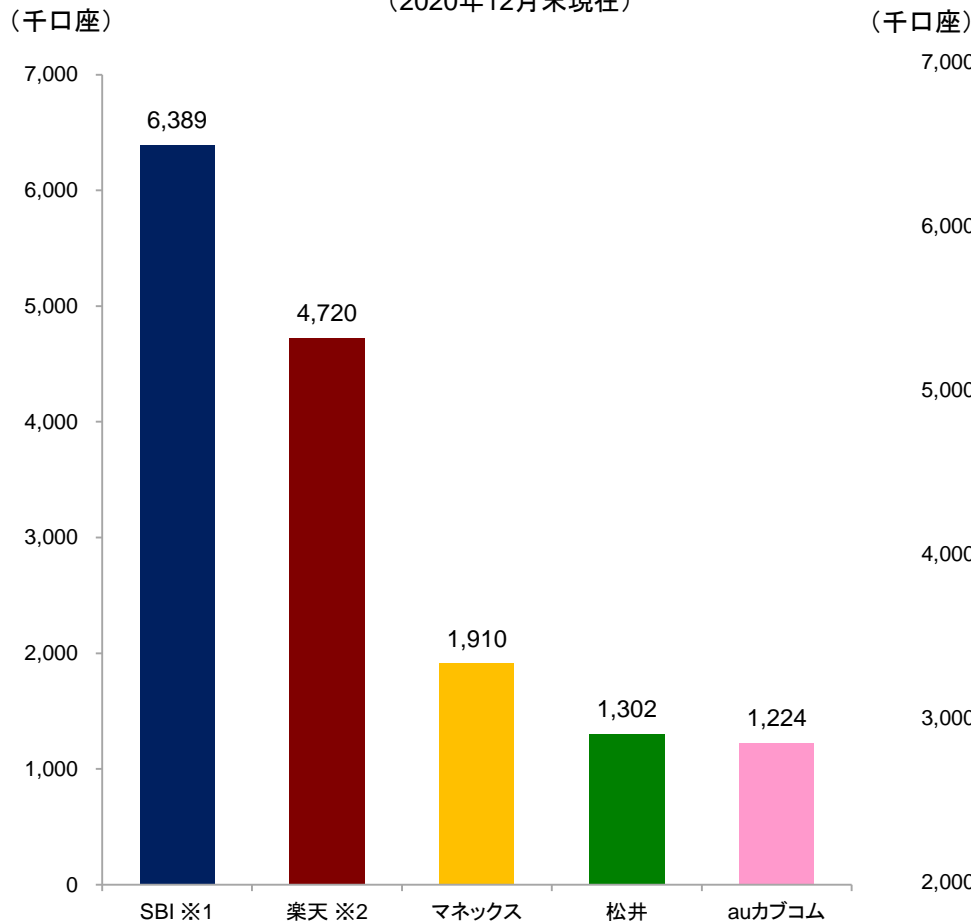
- ▶トレーディング損益は前年同期比62.6%増の36,592百万円。

5. 販売費・一般管理費・・・前年同期比23.2%増の63,466百万円

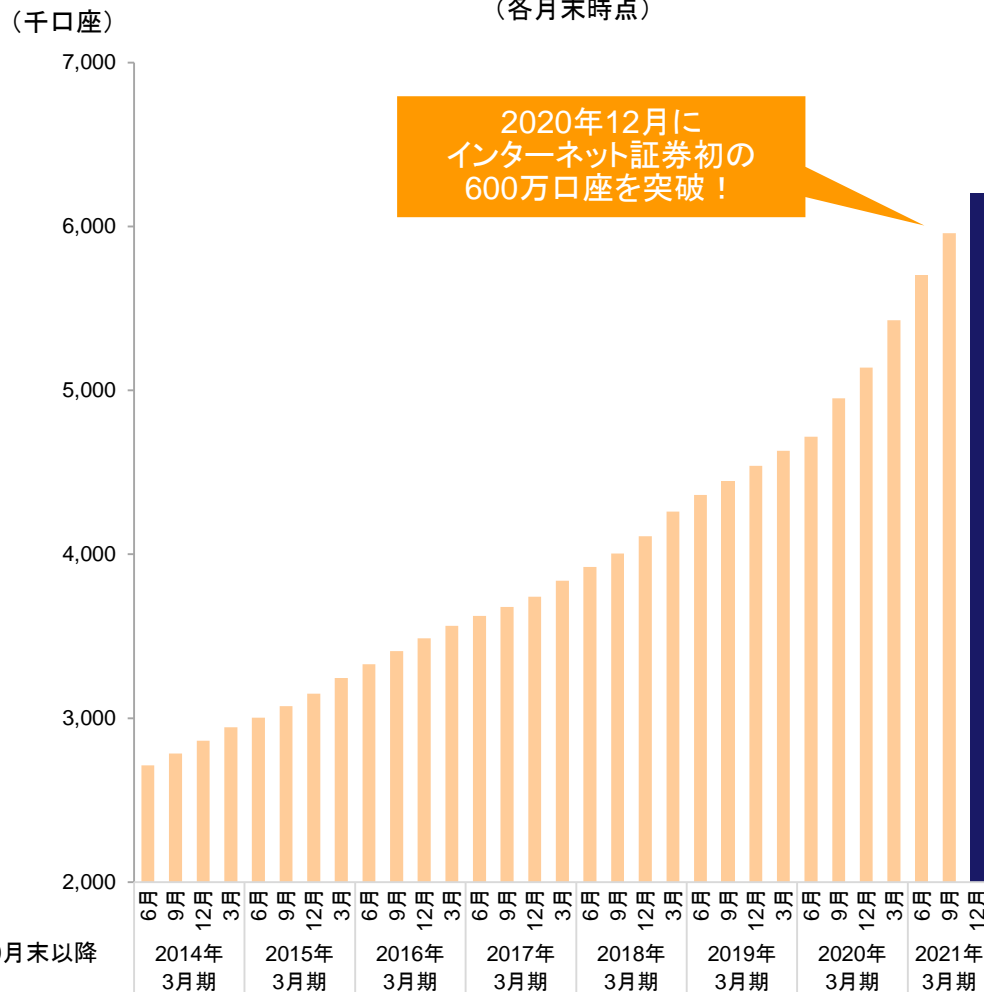
<決算概況>

主要インターネット証券の口座数比較

<主要インターネット証券5社の口座数>※1
(2020年12月末現在)



<口座数推移> ※1
(各月末時点)



※1 SBIの口座数には、2019年4月末以降SBIネオモバイル証券の口座数、2020年10月末以降SBIネオトレード証券の口座数を含む

※2 楽天証券の数値は、2020年9月末の数値

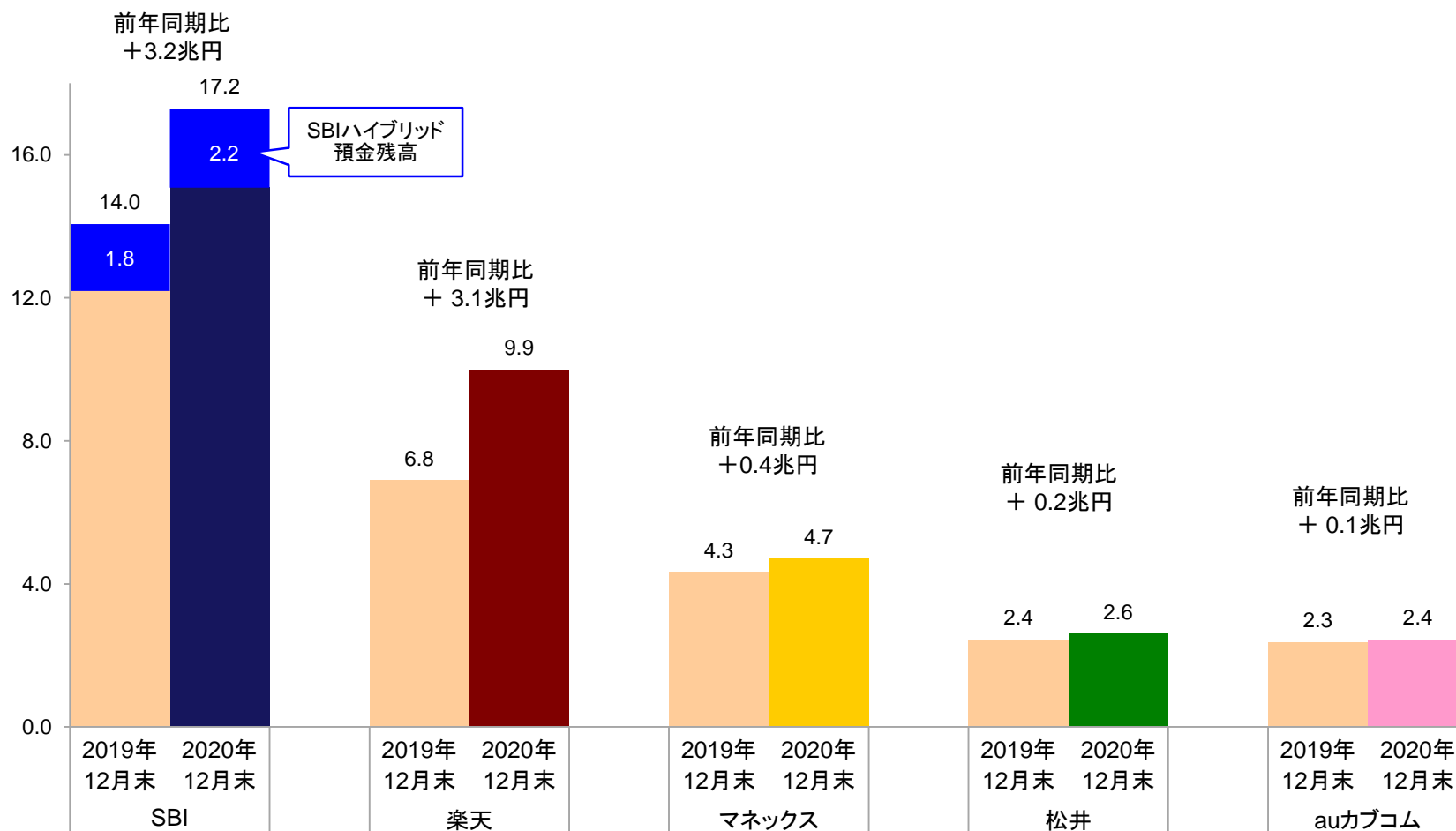
主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

<決算概況>

主要インターネット証券の預り資産残高比較

SBIハイブリッド預金残高を含めると、当社の2020年12月末預り資産残高は前年同期比22.9%増の約17.2兆円。

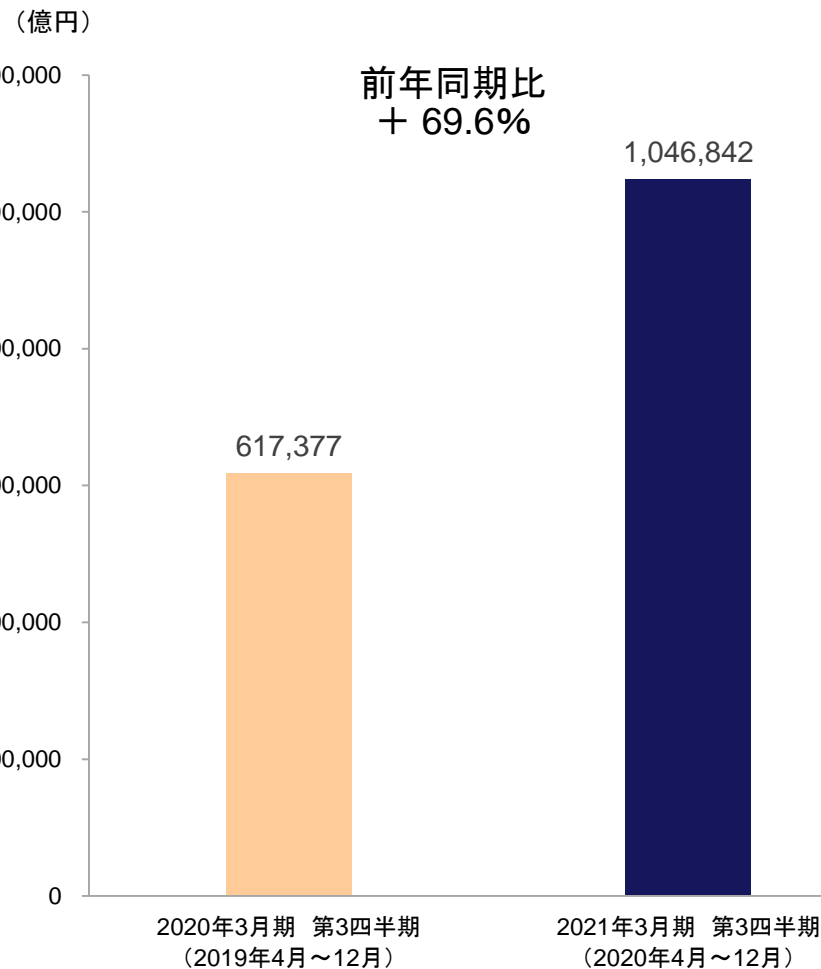
(兆円)



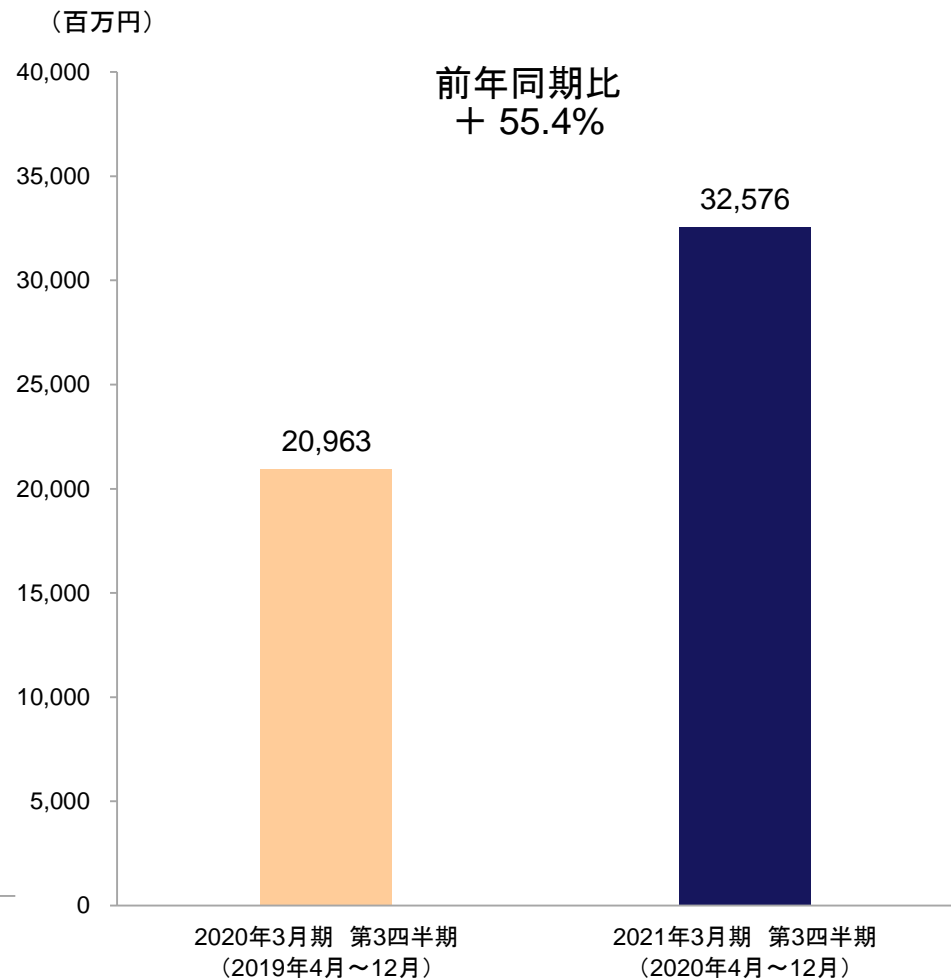
<決算概況>

国内株式 委託売買代金と委託手数料の動向

<委託売買代金>



<委託手数料>



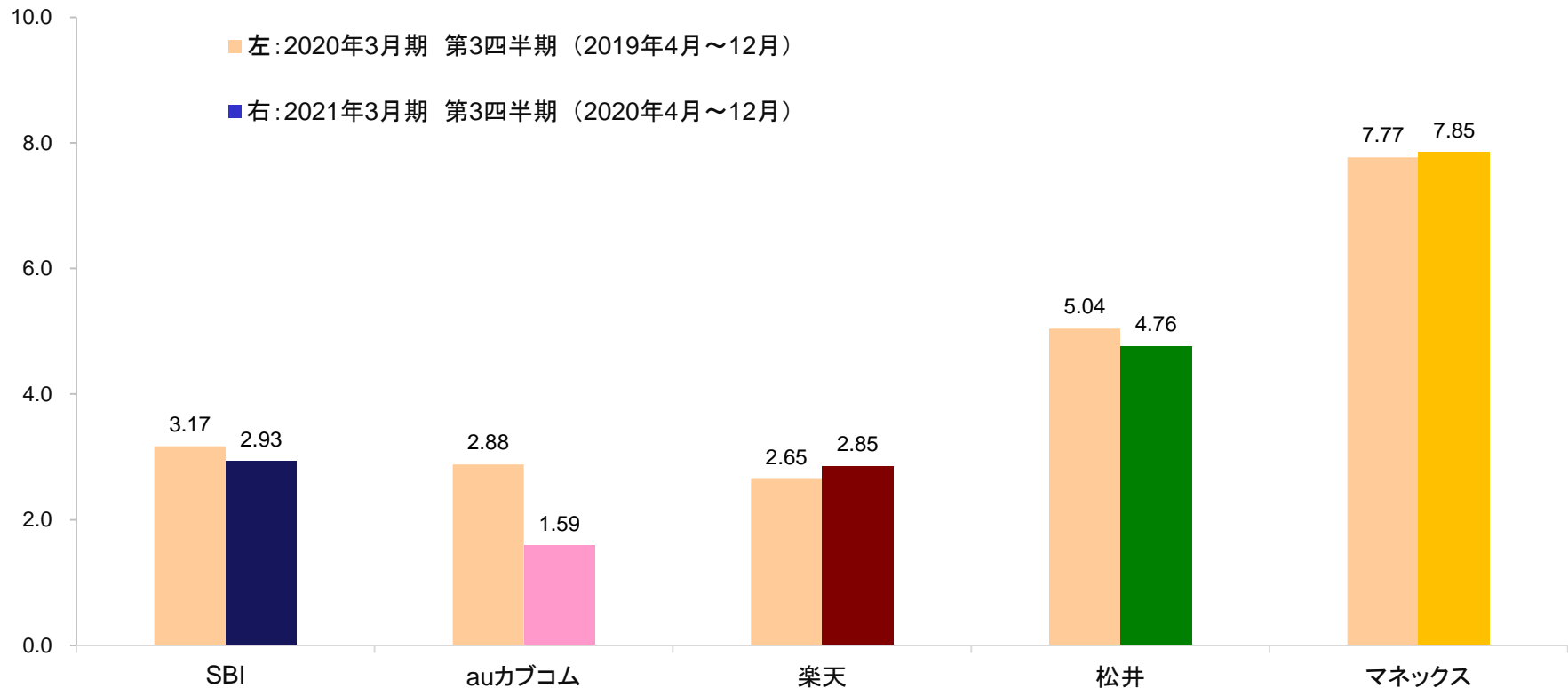
<決算概況>

【ご参考】主要インターネット証券のベースス比較

(ベース)

[委託手数料(注)÷委託売買代金]

(注) 委託手数料の数値には、先物・オプションや外国株式等の国内株式以外の委託手数料の数値を含む



主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、auカブコム証券、マネックス証券、松井証券
 ※ マネックスの数値は、マネックス証券の委託手数料の数値を使用

出所: 各社決算資料、月次開示資料等より当社作成
 委託手数料は決算短信より数値を使用
 SBI証券はインターネット部門のみの数値を使用 9

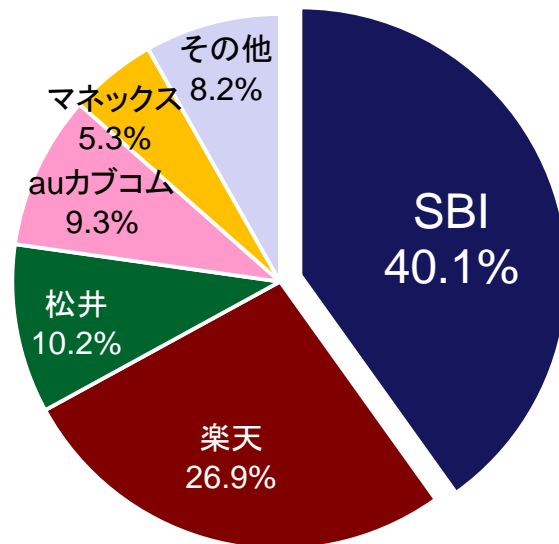
<決算概況>

主要インターネット証券の国内株式 委託個人売買代金シェア

当社は引続き他社を大きく上回る高いシェアを維持し、40.1%のシェアを獲得。

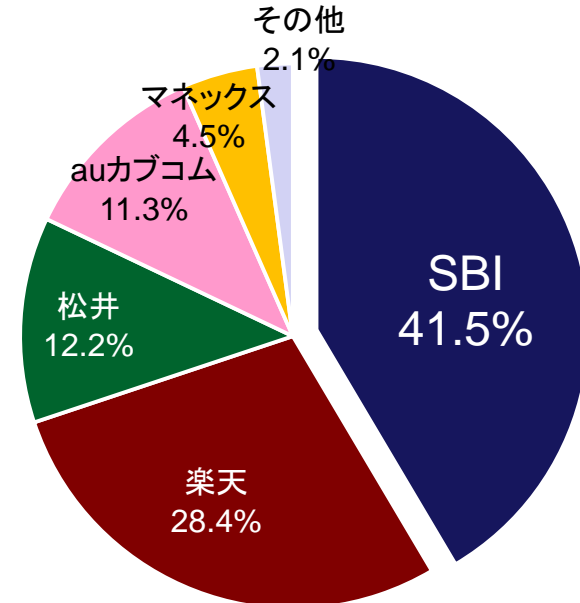
<委託個人売買代金シェア(%)>

2021年3月期 第3四半期 (2020年4月～12月)



<委託個人信用取引売買代金シェア(%)>

2021年3月期 第3四半期 (2020年4月～12月)

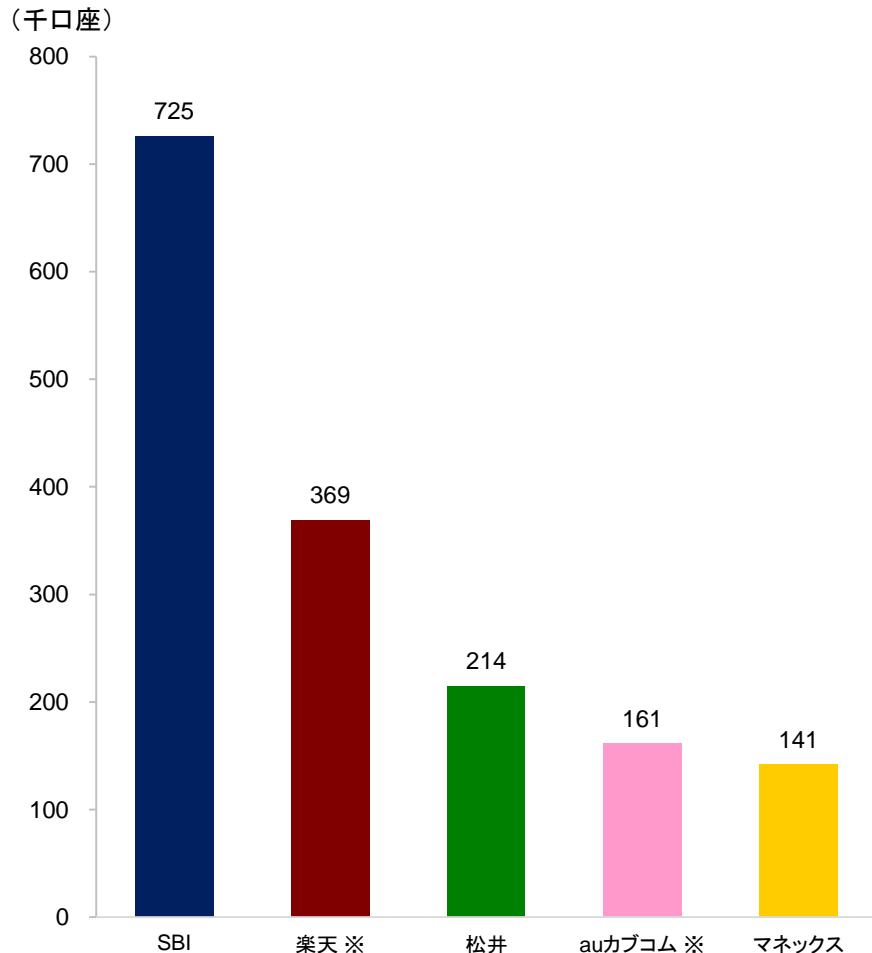


各社委託個人(信用)売買代金÷{株式委託個人(信用)売買代金(二市場1,2部等)+ETF/REIT売買代金}にて算出
出所:東証統計資料、各社WEBサイトの公表資料より当社集計

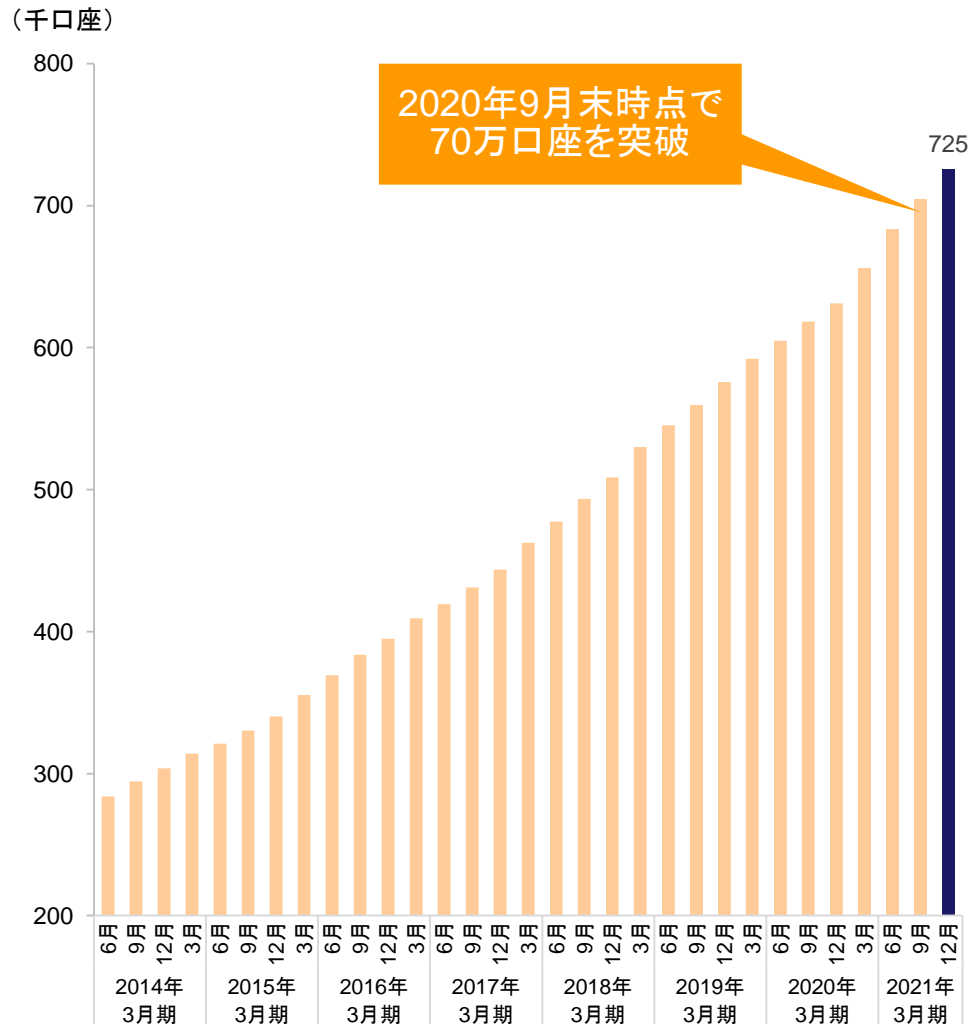
<決算概況>

主要インターネット証券の信用取引口座数比較

<主要インターネット証券5社の信用取引口座数>
(2020年12月末現在)



<信用取引口座数推移>
(各月末時点)

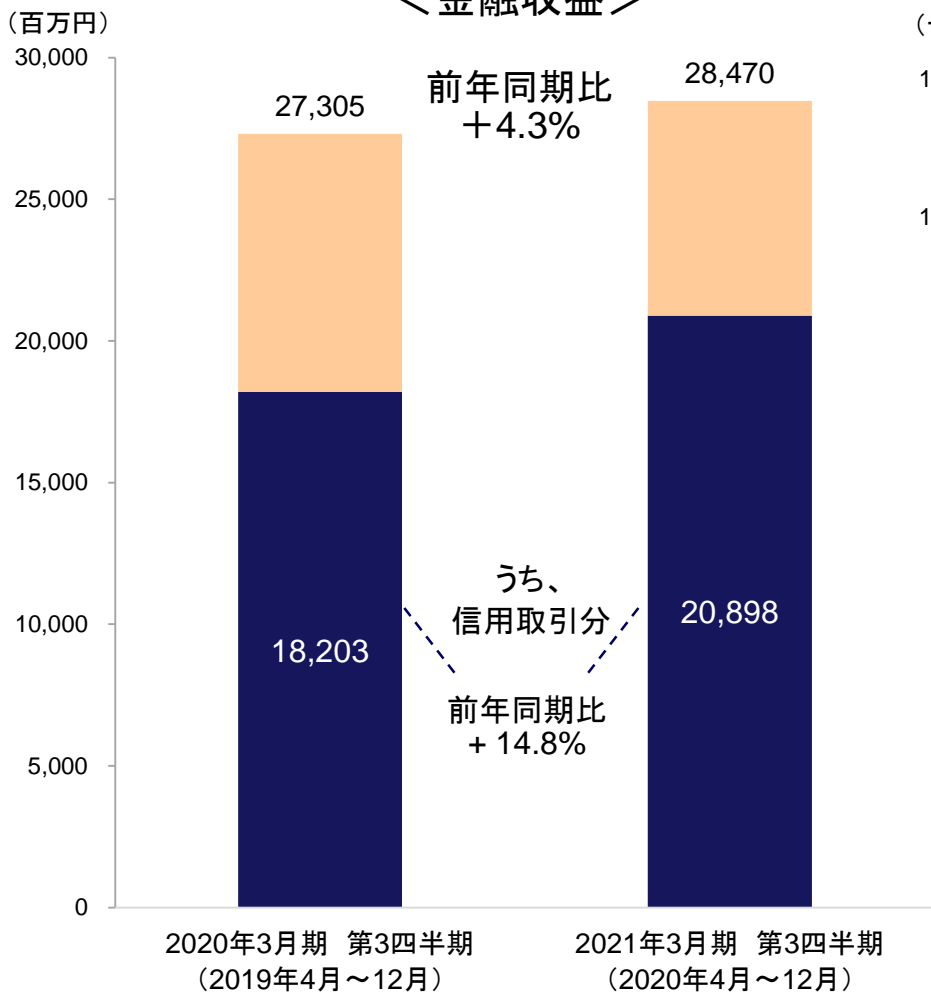


※ 楽天証券は2020年6月末の数値、auカブコムは2020年6月末の数値
主要インターネット証券5社はSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券

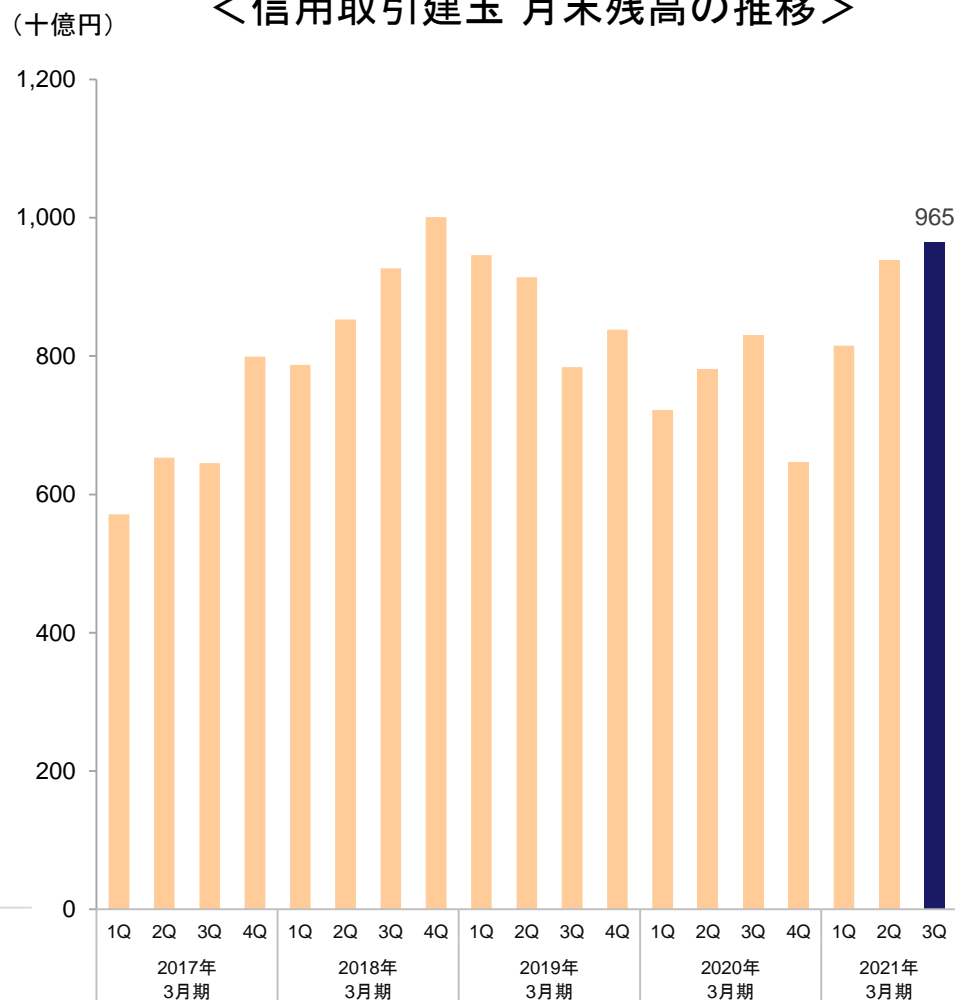
<決算概況>

金融収益と信用取引建玉残高の推移

<金融収益>



<信用取引建玉 月末残高の推移>

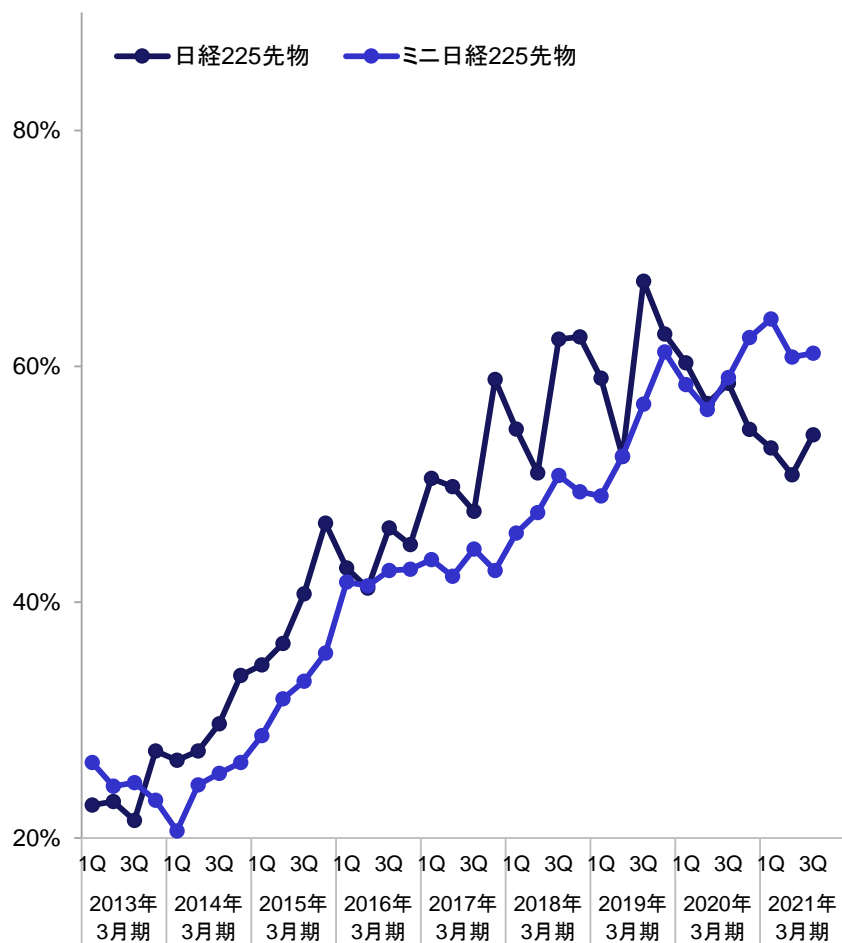


<決算概況>

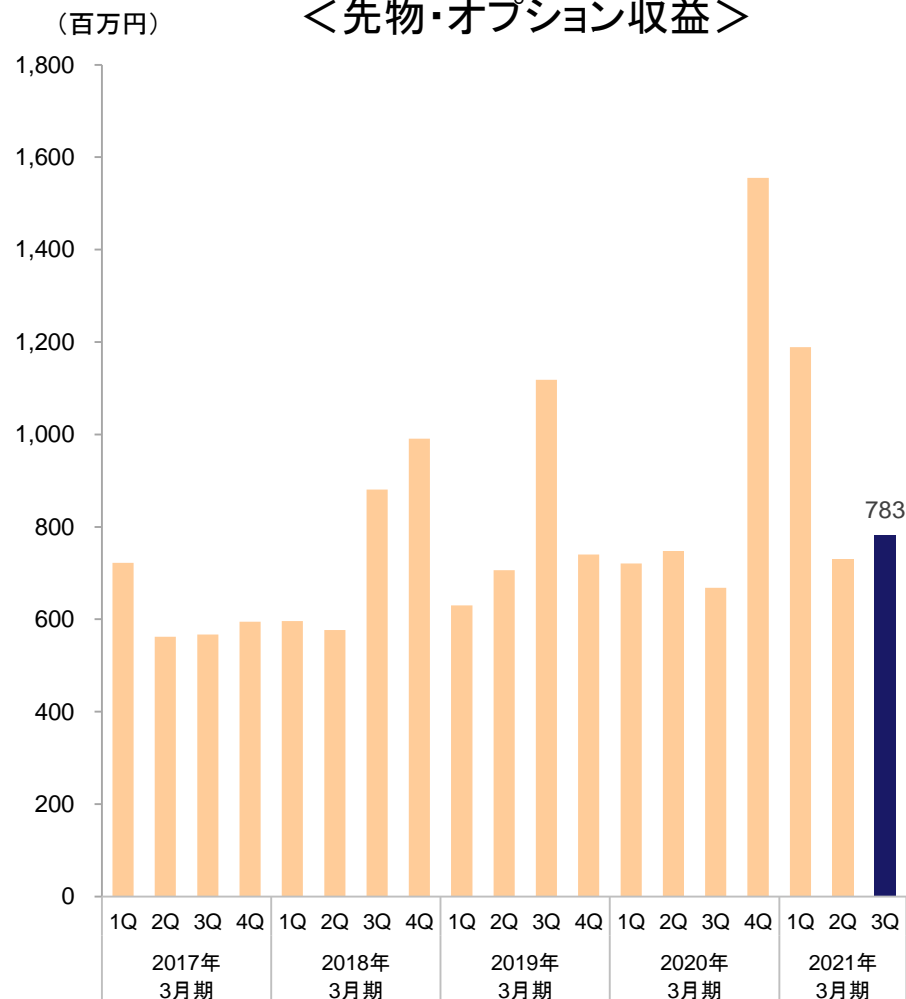
先物・オプション 売買代金シェアと手数料の推移

先物の委託個人売買代金シェアは、引き続き高水準を維持。

<先物 委託個人シェア>



<先物・オプション収益>



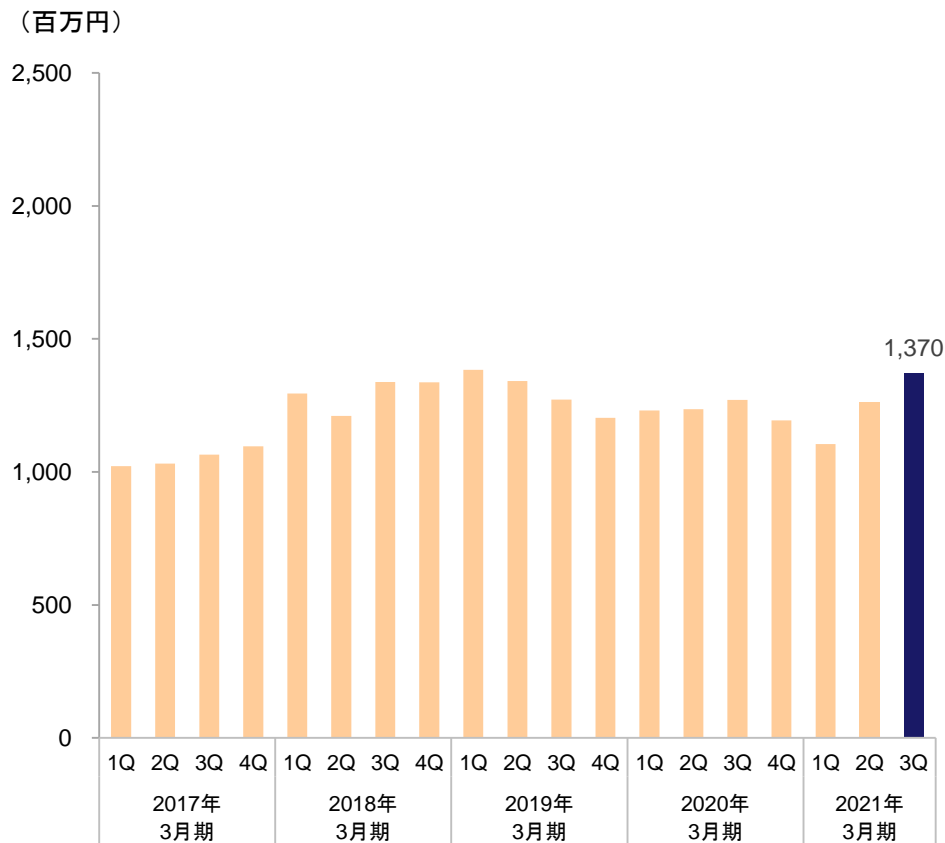
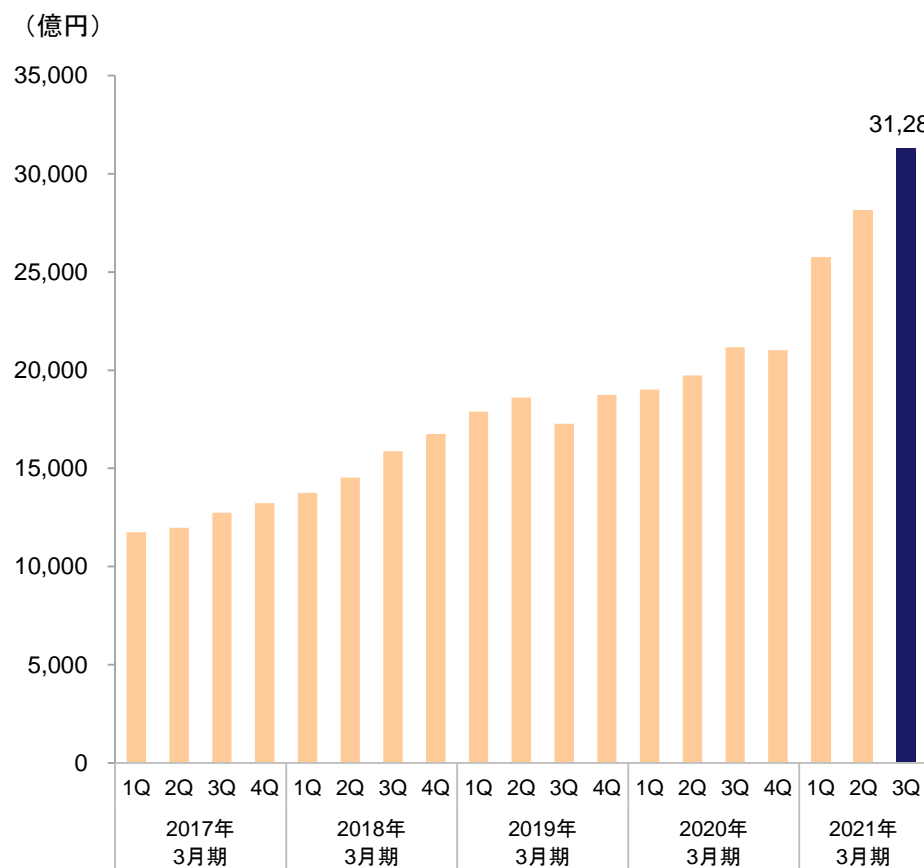
<決算概況>

投資信託残高と信託報酬の推移

投資信託残高の四半期末残高は過去最高、信託報酬は高水準を維持。

<投資信託 四半期末残高>

<投資信託 信託報酬額>



※上場投資信託、MMF、中期国債ファンドおよび対面口座分の預りを含む

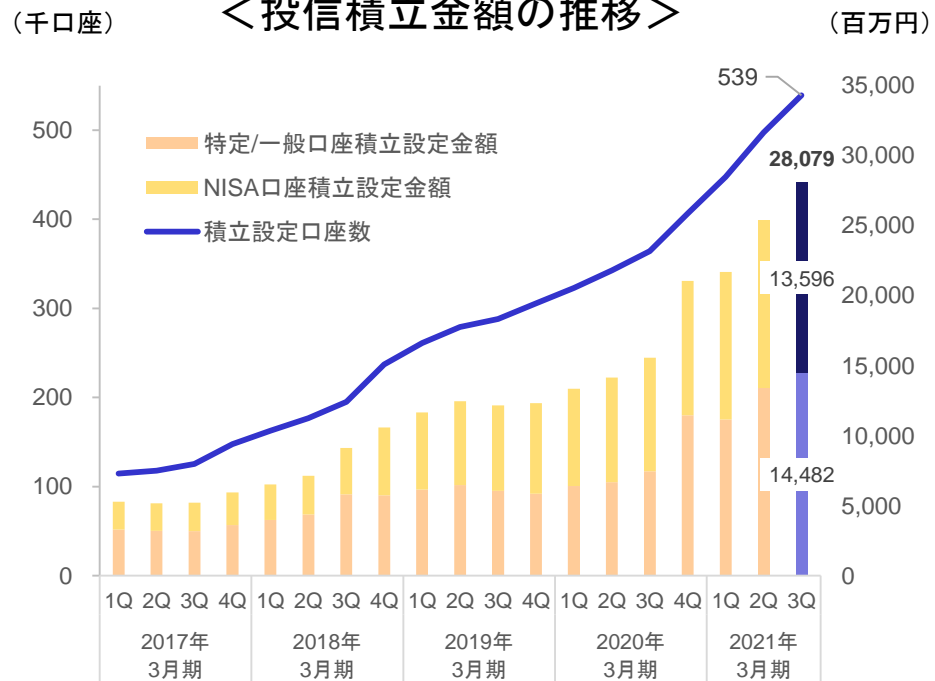
<決算概況>

投資信託販売額／積立設定金額の推移と取扱商品状況

<投資信託販売額の推移>



<投信積立金額の推移>



<売れ筋ファンド-買付金額上位銘柄>
(2021年3月期 第3四半期)

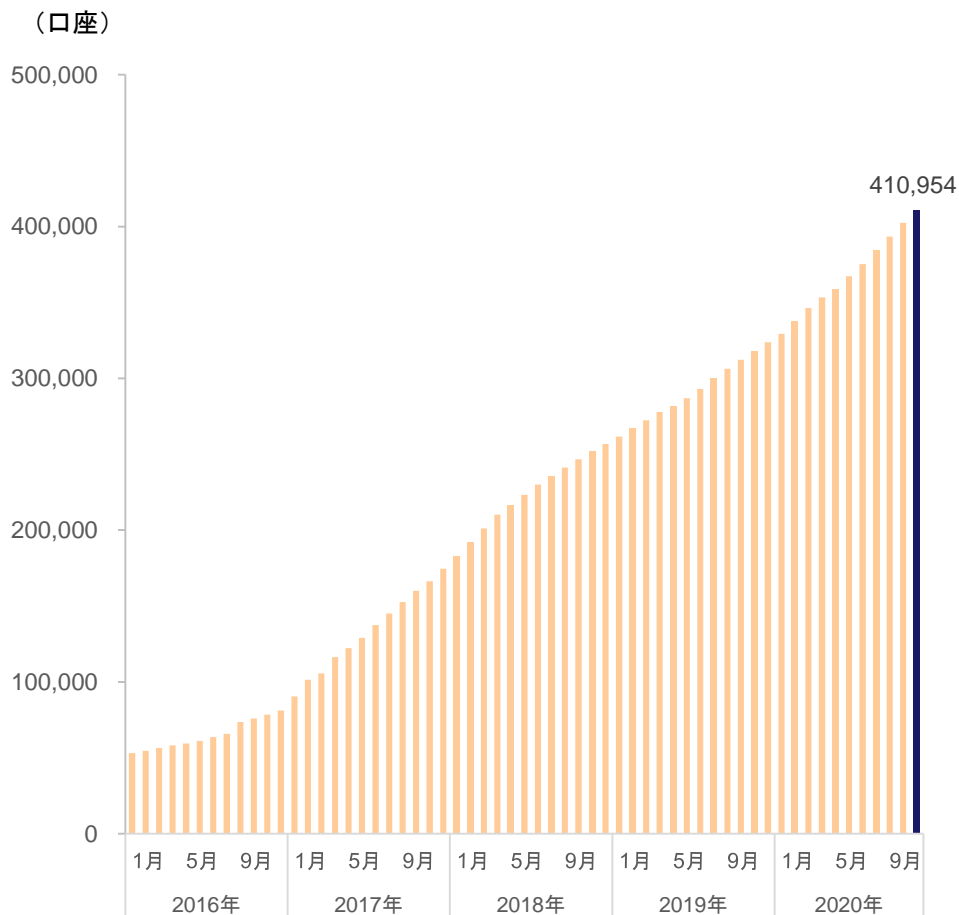
No.	銘柄名
1	<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド
2	ニッセイ日経225インデックスファンド
3	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)

<売れ筋ファンド-積立設定金額上位銘柄>
(2020年12月末現在)

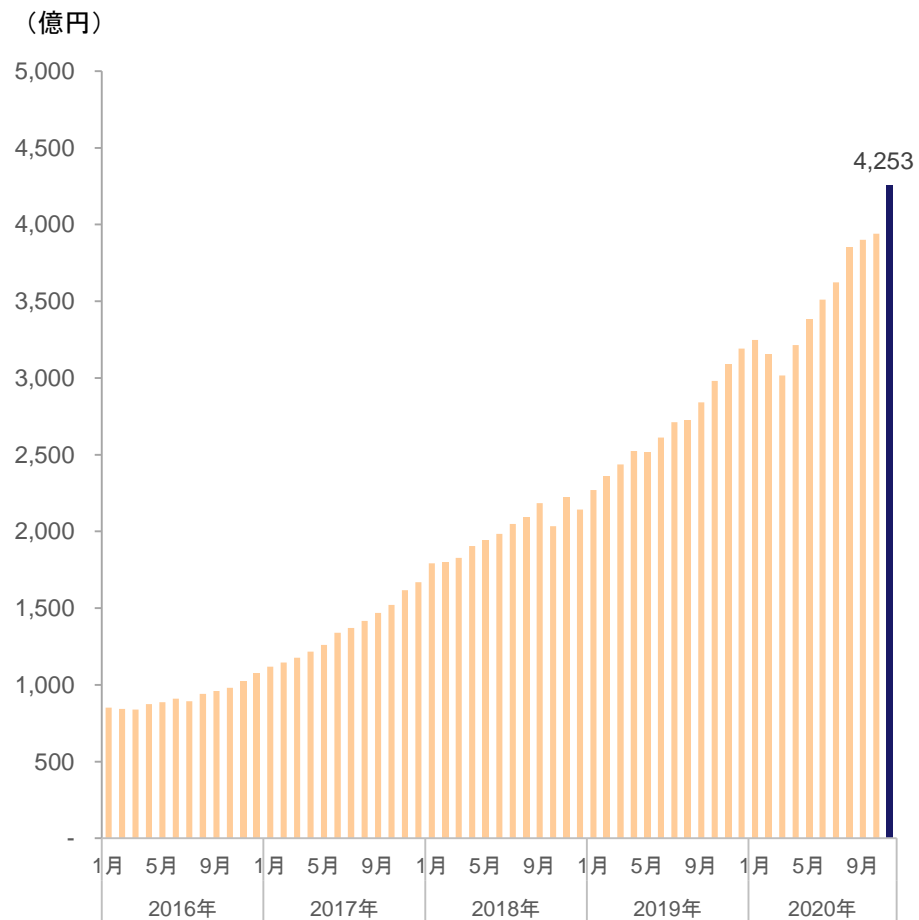
No.	銘柄名
1	<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド
2	ひふみプラス
3	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス

iDeCo口座数・残高の推移

<iDeCo口座数の推移>



<iDeCo残高の推移>

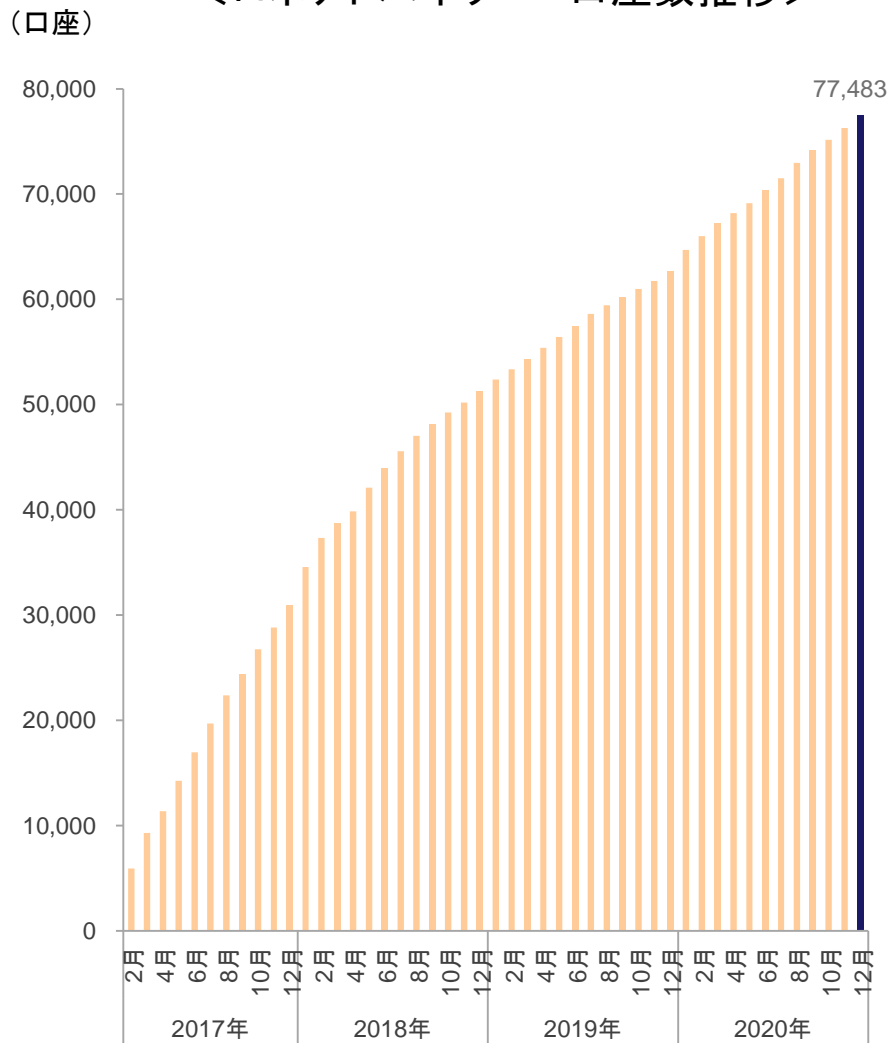


※加入者・運用指図者の合計
 ※出所：国民年金基金連合会

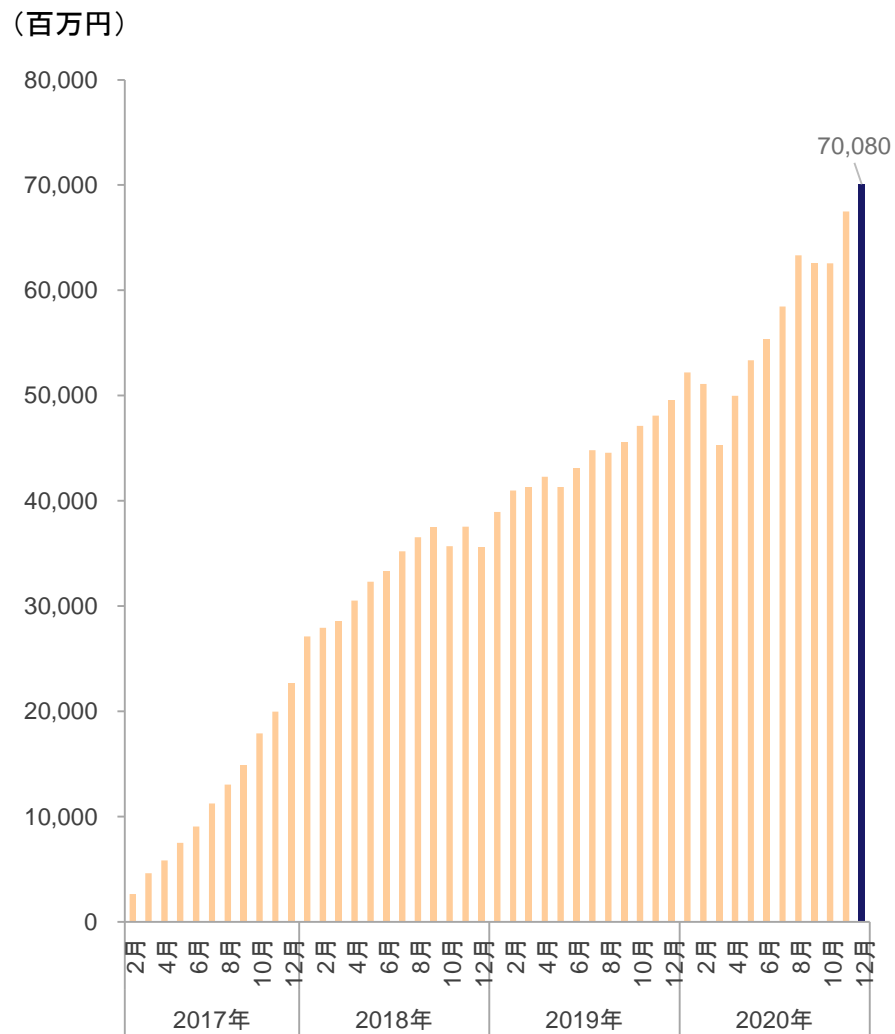
※残高は当社集計

ロボアドバイザー「WealthNavi for SBI証券」の状況

＜ロボアドバイザー 口座数推移＞



＜ロボアドバイザー 残高推移＞



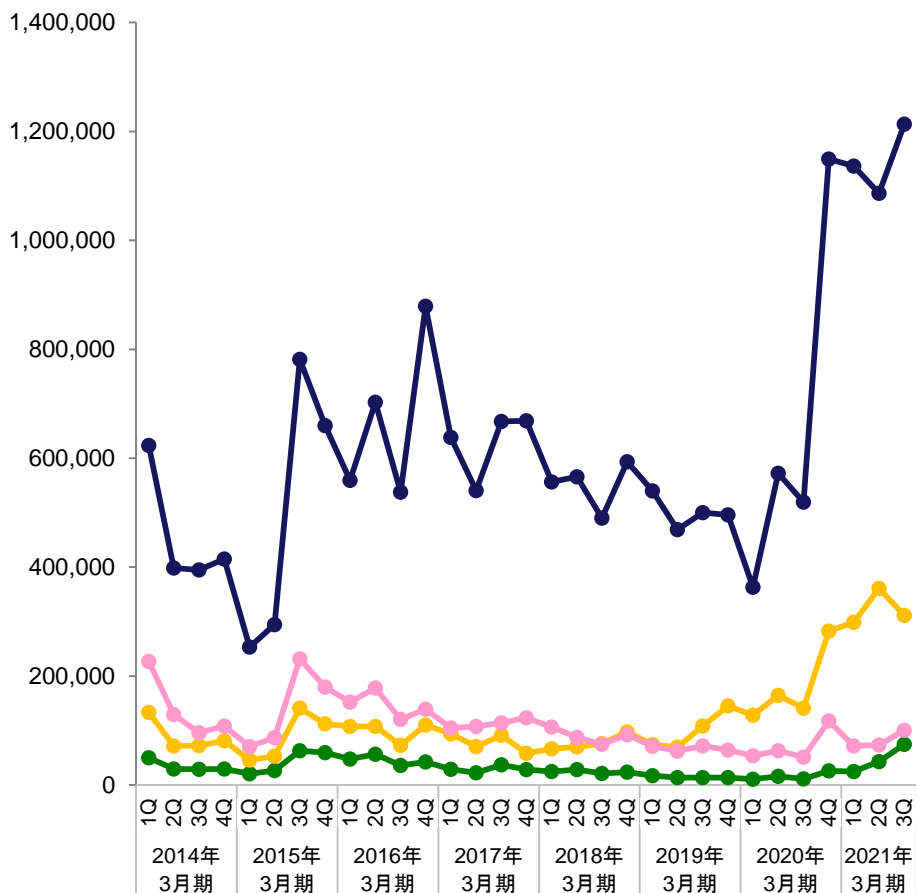
<決算概況>

FX売買代金と収益推移

<主要ネット証券 FX売買代金推移>

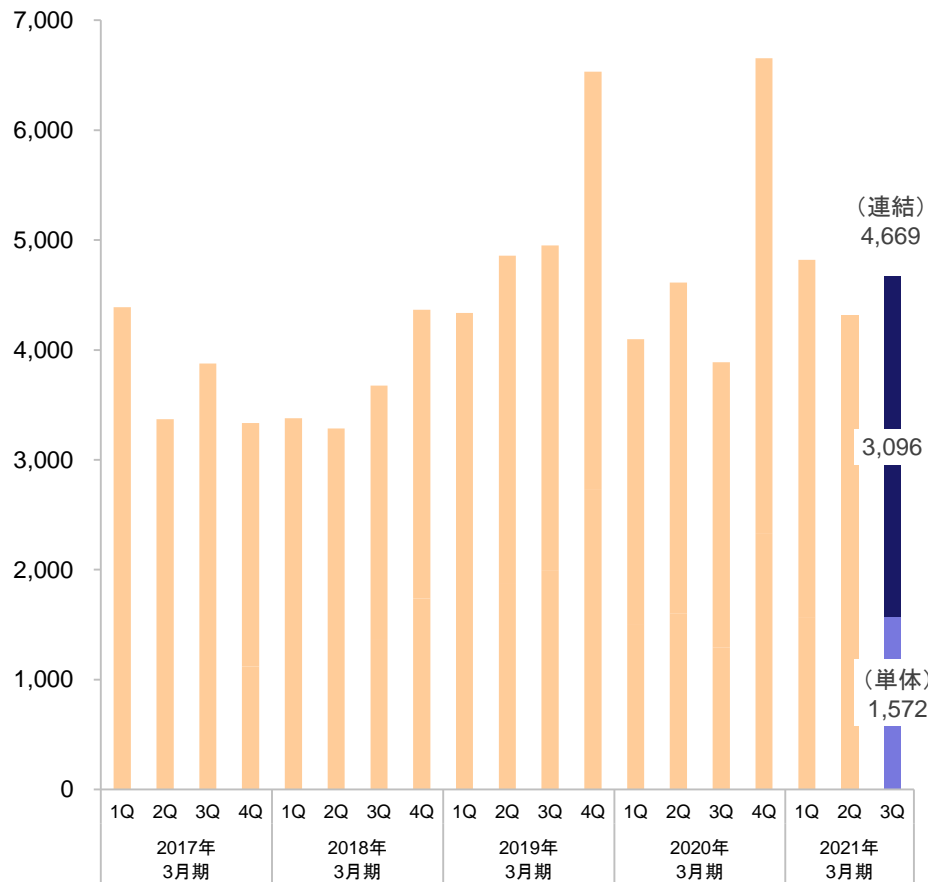
(億円)

● SBI(単体) ● 松井 ● マネックス ● auカブコム



(百万円)

<FX収益推移>



※ データを開示しているマネックス証券、松井証券、auカブコム証券およびSBI証券の4社の数値を比較

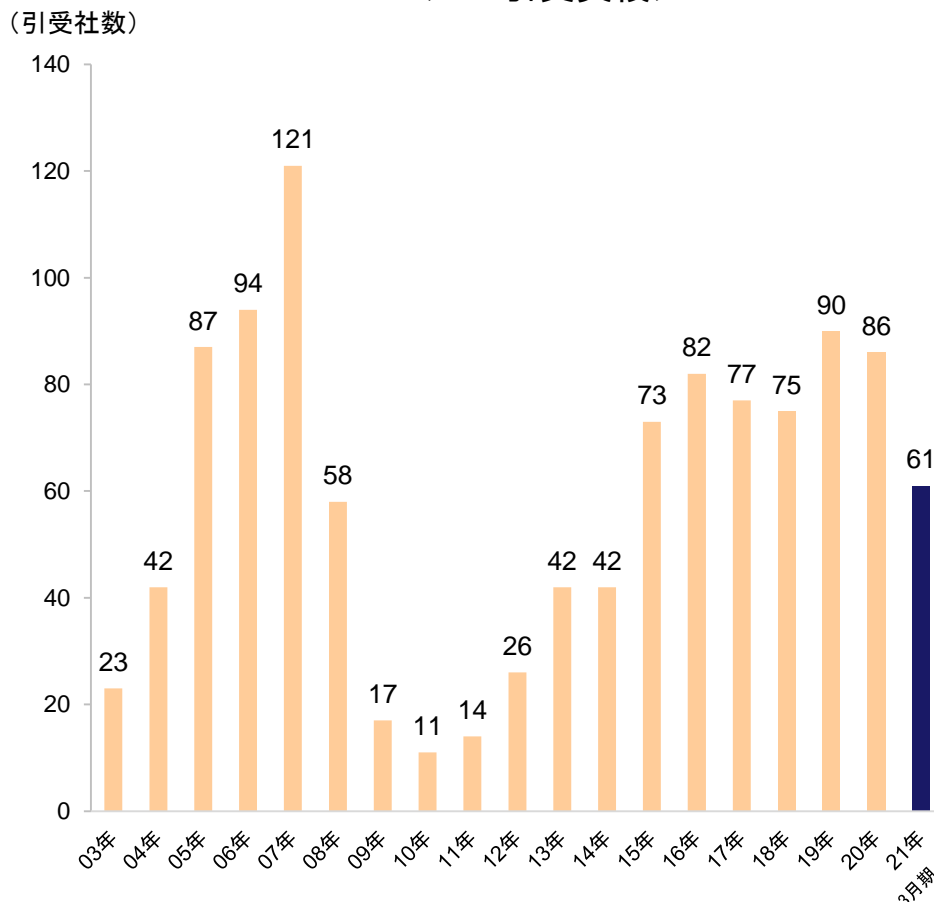
出所：各社ホームページ等公表資料より当社にて集計

<決算概況>

新規公開株式(IPO)の引受実績

2020年4月から12月までの上場会社数は66社。同期間のSBI証券引受関与率は92.4%と引き続き業界トップ。

<IPO引受実績>



※業者委託は含まない、上場日ベース、委託販売・不動産投信を除く
 ※TOKYO PRO Marketを除く数値にて集計

<IPO引受社数ランキング(2020年4月~12月)>

社名	件数	関与率(%)
SBI	61	92.4%
みずほ	43	65.2%
日興	36	54.5%
大和	33	50.0%
楽天	33	50.0%
野村	31	47.0%
マネックス	31	47.0%
岡三	27	40.9%

※集計対象は新規上場企業の国内引受分で、追加売出分と海外は含まず
 ※引受関与とは、自社の主幹事案件含む引受銘柄数
 ※各社発表資料より当社にて集計

<決算概況>

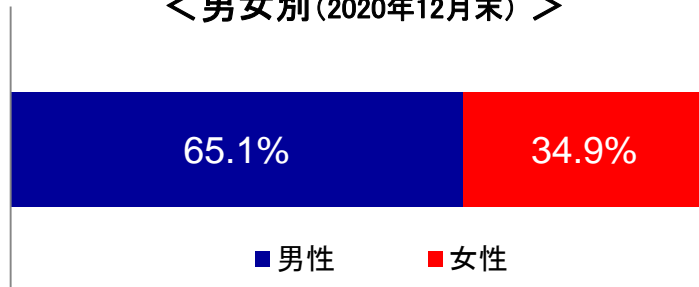
NISA口座の状況

<NISA口座数と稼働率(2020年12月末累計)>

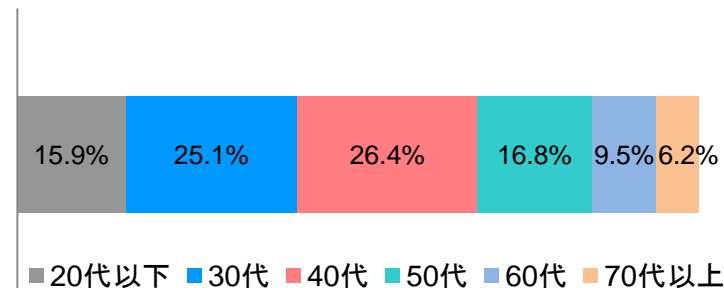
口座数	196.2万口座
稼働口座数	110.9万口座
稼働率	56.5%

※稼働口座数・稼働率は2020年1月以降累計

<男女別(2020年12月末)>

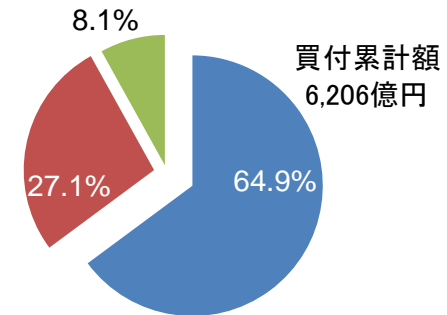


<年代別(2020年12月末)>



※上記数値はNISA、つみたてNISA、ジュニアNISA口座の合算

<買付商品の内訳(2020年1月~12月累計)>



■ 国内株式 ■ 投資信託 ■ 外国株式

<国内株式買付金額上位銘柄(2020年1月~12月累計)>

No.	銘柄名(銘柄コード)
1	日本たばこ産業(2914)
2	日本航空(9201)
3	オリックス(8591)
4	ソフトバンク(9434)
5	三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)
6	ANAホールディングス(9202)
7	みずほフィナンシャルグループ(8411)
8	キヤノン(7751)
9	武田薬品工業(4502)
10	すかいらーくホールディングス(3197)

＜決算概況＞

2021年3月期 第3四半期の主な取り組み

実施時期	取組み内容
2020年 4～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社高島屋および高島屋ファイナンシャル・パートナーズ株式会社との金融業における業務提携契約を締結(4月) ・ 株式会社南日本銀行との入金サービス「南日本銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(4月) ・ 株式会社豊和銀行との入金サービス「豊和銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(4月) ・ 機関投資家向けレポート全文をWEBサイトと「SBI証券 株」アプリで個人投資家へ配信を開始(4月) ・ SBIグループとSMBCグループが戦略的資本・業務提携に関し基本合意を締結(4月) ・ 単元未満株(S株)の約定タイミングを1日3回へ拡充(6月) ・ SBI FXα(外国為替保証金取引)の口座数100万口座達成(6月) ・ 高島屋ファイナンシャル・パートナーズ株式会社との金融商品仲介業サービスを開始(6月)
2020年 7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三井住友カード株式会社と個人向け資産運用サービスにおける業務提携に関する基本合意(7月) ・ SBIグループとSMBCグループが資本・業務提携契約を締結(7月) ・ トルコリラ/円、スイスフラン/円の基準スプレッドを縮小、トルコリラ/円、メキシコペソ/円、シンガポールドル/円、ノルウェークローネ/円、スウェーデンクローナ/円、ポーランドズロチ/円の6通貨ペアのレバレッジ上限の引き上げ(必要保証金率の引き下げ)(8月) ・ ロボアドバイザー「WealthNavi for SBI証券」残高600億円を達成(8月) ・ 株式会社富山銀行との入金サービス「富山銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(8月) ・ 株式会社筑波銀行との入金サービス「筑波銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(8月) ・ 株式会社宮崎太陽銀行との入金サービス「宮崎太陽銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(8月) ・ 株式会社みちのく銀行との入金サービス「みちのく銀行 リアルタイム入金」の提供を開始(8月)

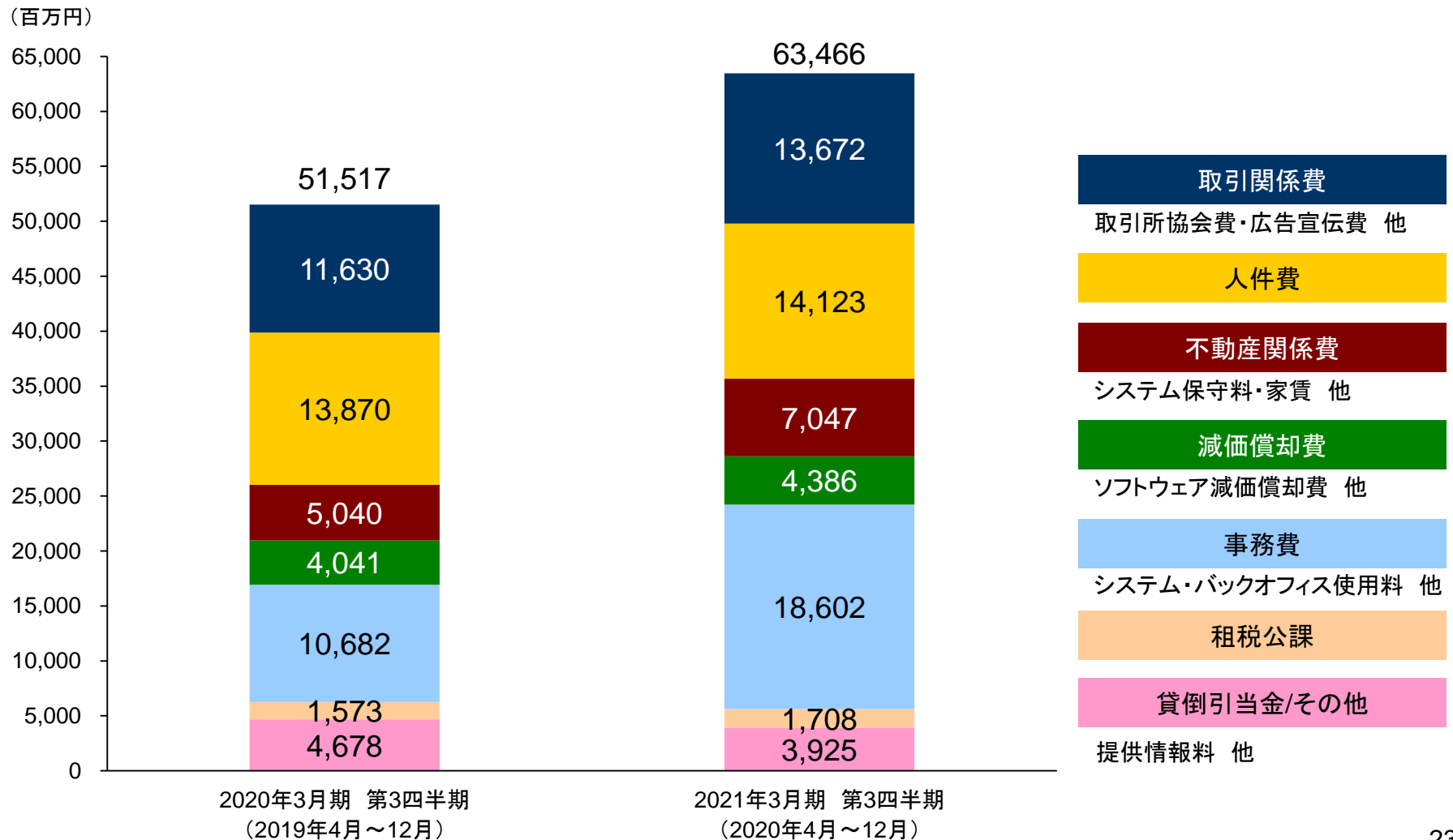
<決算概況>

2021年3月期 第3四半期の主な取り組み

実施時期	取組み内容
2020年 7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南アランド/円、豪ドル/米ドルの基準スプレッドを縮小(9月) ・ HDI-Japan「問合せ窓口格付け」及び「Webサポート格付け」における「三つ星」を獲得(9月) ・ 大口信用取引における取引手数料無料化の適用条件の引き下げを実施(9月) ・ 株式会社清水銀行とM&A業務に関する提携を開始(9月)
2020年 10～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ SBI証券、不動産仲介業務開始(10月) ・ 現物・信用取引ともに、株式委託手数料(アクティブプラン)の1日の約定代金合計額「50万円まで無料」を「100万円まで無料」へ拡大(10月) ・ 日本銀行との当座預金取引を開始(10月) ・ フィデアホールディングス株式会社傘下の株式会社荘内銀行および株式会社北都銀行との金融商品仲介業サービス開始(10月) ・ 現物取引手数料が無料となる国内ETFにレバレッジ型ETFおよびマザーズETF4銘柄を追加(11月) ・ 株式会社もみじ銀行との入金サービス「もみじ銀行リアルタイム入金」の提供を開始(12月) ・ 株式会社山口銀行との入金サービス「山口銀行リアルタイム入金」の提供を開始(12月) ・ 株式会社北九州銀行との入金サービス「北九州銀行リアルタイム入金」の提供を開始(12月) ・ 「SBI証券 株」アプリと自動でトレード記録・分析ができるアプリ「カビュウ」との連携を開始(12月) ・ 国内株式個別銘柄分析レポート「REFINITIV STOCK REPORTS PLUS」の提供を開始(12月)

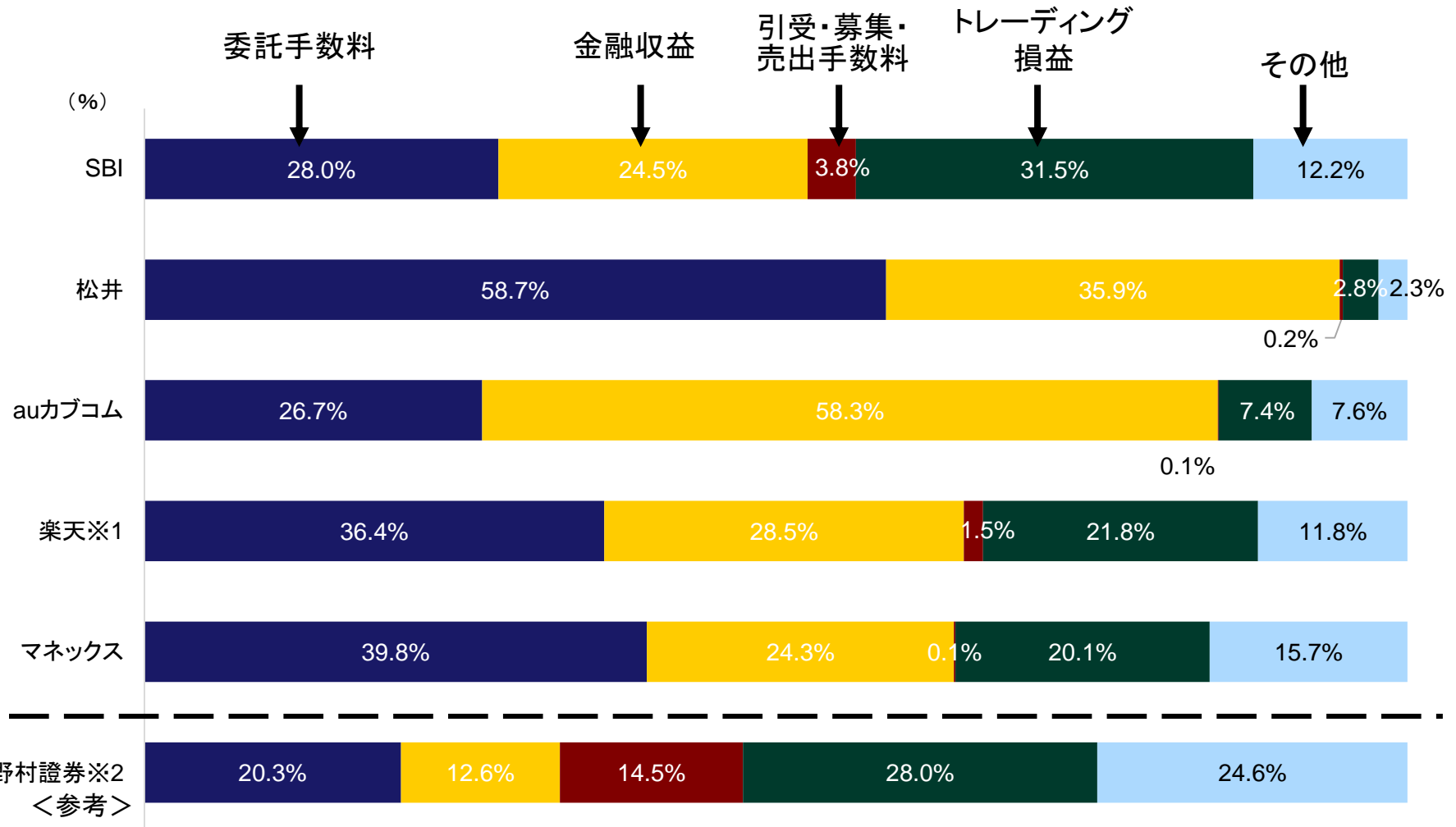
<決算概況>

販売費・一般管理費の内訳



<決算概況>

主要インターネット証券各社 2021年3月期 第3四半期累計営業収益構成比



出所: 各社WEBサイトの公表資料より当社にて集計

※1 楽天証券の数値は、2018年度より12月決算に変更しており、上記は同社公表の2020年12月期 第2四半期の数値を記載

※2 野村証券の数値は、2021年3月期 第2四半期の数値を記載

＜手数料等及びリスク情報について＞

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

＜金融商品取引法に係る表示＞

商号等 株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号 関東財務局長（金商）第44号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会